

ア ジ ア 室 通 信

2018年6月

84号



CONTENTS

【特集】

- 『ベトナムでの娯楽』 1
みなと銀行
国際業務部 アジア室
代理 山田 一直

【トピックス】

- 『中国 AI 技術の現状とその市場』 4
みなと銀行
国際業務部 アジア室
主任 齋藤 豊

【アジアビジネス情報】

- アジアニュース・主要経済指標 8

みなと銀行 国際業務部アジア室

1. 本資料記載の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。2. 著作権 本誌記載の情報の著作権は原則として弊行に帰属します。いかなる目的であれ、本誌の一部または全部について無断で、いかなる方法においても複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与等を行うことを禁止します。3. 免責 本誌記載の情報は、弊行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡無しに変更されることもあります。弊行は当該情報に起因して発生した損害については、その内容如何にかかわらず一切責任を負いません。また、本稿の中で、意見にわたる部分は、筆者の個人的意見であり、筆者の所属する組織の見解を代表するものではありません。

みなと銀行
国際業務部 アジア室 代理
山田 一直

所得の向上により、徐々に人々のお金の使い方が変化するベトナム、現状では食品等一部の分野においてその傾向が見られますが、今回は個人的に今後更なる拡大が予想できるのではないかとと思われる、ベトナムの娯楽について紹介します。

1. 映画鑑賞

映画鑑賞はベトナム人に人気の娯楽の一つです。

主にビンコムセンターやイオンモール等のショッピングセンター内に映画館があり、多くの人々がショッピングと併せて映画を楽しんでいます。

ホーチミンで良く目にする映画館はCGV（韓国系）です。

ちなみにベトナム映画館数1位がCGV、2位はロッテ・シネマと何れも韓国系です。

価格は10万～15万ドン（500円～750円相当）と非常に安く、

カップルや友達同士で鑑賞している姿がよく見られます。

言語はベトナム語または英語となりますが、

日本のアニメ等（こちらでも人気のドラえもん等）は日本語にて公開されています。

<チケット売場>

<公開作品/ベトナム以外の映画も人気です>



2. ボーリング

私はベトナムにボーリング場があることを知った時、大変驚きました。

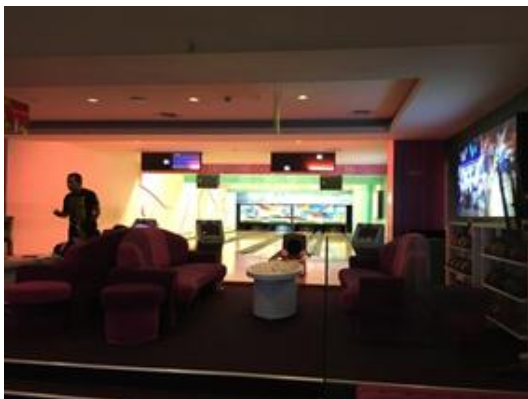
「どんな設備なのか」「レーンは真っ直ぐなのか」と大変失礼な想像をしてしまいましたが、実際に行ってみるとそんな心配は無用でした。

私が良く行くボーリング場はダイヤモンドプラザショッピングモール内（韓国系）に併設されており、

内装はとてもオシャレで、流行の洋楽が流れ、仲間でわいわいと楽しめる空間です。
ケータリングメニュー表があり、ソフトドリンクからビール、
カクテルまで注文が可能です。

1ゲームの価格は 65,000 ドン~80,000 ドン (325 円~400 円相当)、
貸しシューズは 15,000 ドン (75 円相当) と非常に安価です。

<施設内の様子/日本よりも賑やかな感じでしょうか？>



3. ゴルフ

ベトナム駐在の方で休日はゴルフという方はたくさんいらっしゃると思います。
ベトナムにはたくさんのゴルフ場があります。
プライベートは勿論、日系企業の交流の場としても非常に多く利用されています。
ベトナムではお昼を過ぎると強烈な暑さとなりますので、スタート時間を早め、
お昼までにプレーを終えることをお奨めします。
ゴルフ場までは近いところだと市内から車で 30 分程度であり、
ホーチミン中心よりタクシーを利用して 1,000 円程度で行くことができます。
帰りもタクシーとなる為、プレー後にお酒を気兼ねなく楽しめる点も、
日本と異なるところかもしれません。

<タンソンニャット・ゴルフクラブ>



4. まとめ

ベトナムは日本に比べると、まだまだ娯楽の数は非常に少ない国です。
現状、彼らにとって最大の娯楽とは、「親しい人達とカフェで時間を気にせず喋る」
ことだと思いますが、今後所得の向上がさらに進めば、
それも変化してくるかもしれません。
娯楽分野における日系企業の進出は少なく、今後楽しみにしたいところではあります。



『中国 AI 技術の現状とその市場』

みなと銀行
国際業務部 アジア室 主任
齋藤 豊

2018年4月、中国上海市内にある中国建設銀行九江路支店が「無人店舗」としてオープンしました。これは中国初の試みで、大変話題となっています。また同年1月には、中国の大手IT企業である“テンセント”が開発した囲碁の人工知能（以下、AI）プログラムである「Fine Art」が、中国トップ棋士と囲碁の対局を交え、勝利したことも話題となりました。

今回は中国で成長著しい「AI技術の現状とその市場」をテーマにお伝え致します。

先述の中国建設銀行の無人店舗では、市民は「身分証明書」を提示することで自動ゲートを開くことができ、入店が可能となります。

【写真① 店舗に入る自動ゲート】



わりに AI ロボットによる接客が可能となっています

この店舗には生体認証、音声認識、データマイニング（統計学、AI などによるデータ解析技法から知識を取り出す技法）といった最新のフィンテックが活用されています。

また、店舗内には顔認識、音声ガイド、VR・AR といった最新の技術も導入されており、銀行員の代

加えてこの無人店舗にはATMは勿論、外貨両替機も設置されており、一般的な有人店舗で取り扱われている銀行の金融サービスの提供が可能となっています。

【写真② AI ロボットによる接客の様子】



【写真③ 店内の外貨両替機とATM】



また、4 月には中国ニュースサイトの浙江在線などで、アリババ系列の物流会社の菜鳥ネットワークが開発した無人運転宅配用車両「小 G プラス」の公道走行実験をメディアに公開したと伝えられました。実験対象となったのはアリババ本部（浙江省杭州市）から菜鳥ネットワーク本部までの 10 キロの公道です。

小 G プラスは信号機の色を識別、緊急停車や、周囲の渋滞などの交通事情を認識し、利用者が受取先を変更すると、それに応じて配送ルートを自動で変更することができます。この車両はすでに量産体制に入っており、2018 年中には正式に実用化される予定となっています。

ここからも中国は「最新」の AI 技術を活用することができるレベルに達してきていることを身近に感じることができます。

また、アメリカのグーグル傘下 Deep Mind 社が開発した囲碁 AI プログラム「Alpha Go」が、世界 5 位のイ・セドル氏を打ち負かしたのは 2016 年 3 月の出来事で、記憶にも新しいことかと思えます。

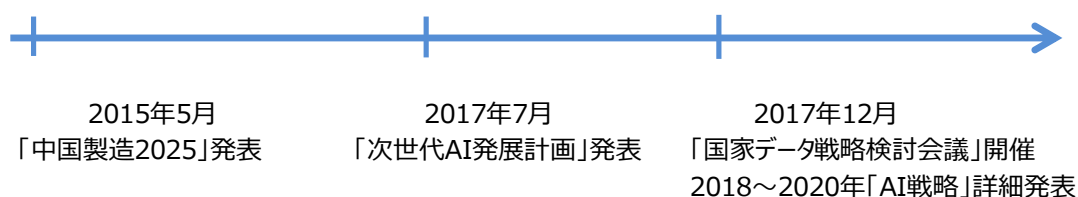
中国でも遅れること約 2 年、IT 企業テンセントが開発した囲碁 AI プログラム「Fine Art（絶芸）」が 2018 年 1 月に同国のトップ棋士である柯 潔氏を打ち破りました。

昨今、中国の AI・IT 技術はアメリカのそれに匹敵するものになってきたという報道も数多くありますが、市民の身近なところまでこのような技術が普及してきているということは、まさにその裏付けになると思います。

ここからは少しマクロ的な話になりますが、中国では 2015 年 5 月に「中国製造 2025」を発表しました。この施策で、中国を製造大国から製造強国への転換を目指す方針を掲げ、次世代通信技術産業や、ロボット産業を重点分野に設定されました。

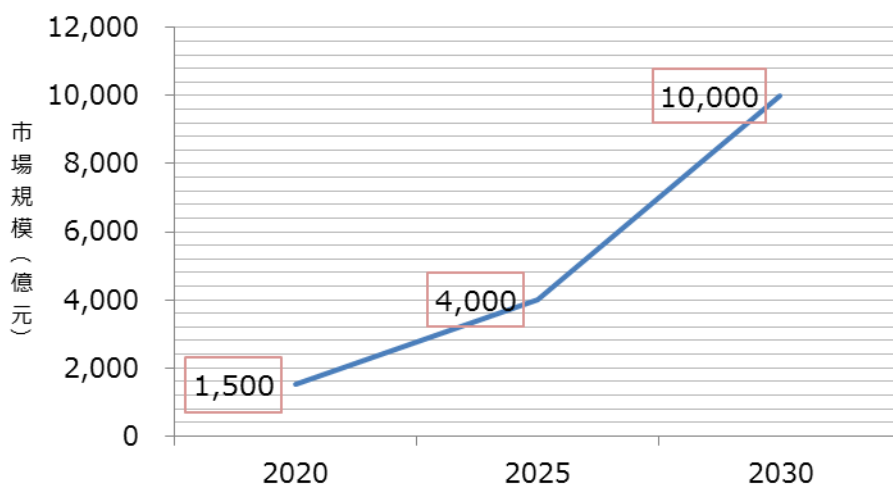
続いて 2017 年 7 月に「次世代 AI 発展計画」を発表し、2030 年までにスマートフォンやロボット、音声認識、自動運転車など関連産業を含め、1 兆元規模（約 17 兆円）の AI 市場の創出を目標にする方針が打ち出されました。

【図① 中国のAIに関する最近の動き】



現在の中国の AI 市場規模は開示されていませんが、この計画では 2020 年に 1,500 億元（約 2 兆 5,500 億円）を超える市場規模を目指しており、2025 年には 4,000 億元（約 6 兆 8,000 億円）の産業に成長させることを目標にしています。

【図② 「次世代AI発展計画」でのAI市場規模の成長計画】



(次世代 AI 発展計画より筆者作成)

本誌をお読みになられている皆さんは中国の貴州省という省都をご存じでしょうか？ 貴州省（貴陽市）は、以前は中国でも貧しい省でしたが、特有の涼しい気候を背景に、ビッグデータ関連の政策試験区となったことで、この地域には企業が集まり、ビッグデータ先進地域として発展しています。

現在では、中国の携帯電話 3 大キャリア(中国移動、中国聯通、中国電信)や、アリババ、テンセントをはじめ大手企業が進出しています。

貴陽市では 2015 年からビッグデータ博覧会を開催しており、公式発表によれば、2017 年は出展 316 社、来場者 87,000 人となったようです。この博覧会には、中国企業だけでなく、クアルコム、デル、ヒューレット・パッカード、マイクロソフトなど欧米の大手 IT 企業の参加もあったとのことです。(公式 HP:<http://www.bigdata-expo.org/expo/article/exhireco>)

上海・北京などの都市名はよく聞きますが、あまり聞かない貴州省で IT・AI 産業が発達しています。今後もこの貴州省のビッグデータ先進地域を中心に、中国政府の力強い施策のもと IT・AI 産業が推し進められ、この産業が中国経済の発展に寄与していくことでしょう。

アジアニュース・主要経済指標

【中国】

北京晨報によれば、中国電信(チャイナ・テレコム)は今年、50種、5000万台の「人工知能(AI)機能を備えたスマートフォン」販売を目指す、このほどまとめた「AI端末白書」で明らかにした。なお、同白書では「AIスマートフォン」について、顔認識や音声認識などの機能を備えた機種と定義している。

【タイ】

タイ商業省が22日に発表した4月の輸出実績は前年同月比12.3%増の189億4600万ドルとなり、14ヵ月連続前年同月比プラスとなった。輸入実績は前年同月比20.4%増の202億2900万ドルとなり、貿易収支は12億8300万ドルの赤字となった。

世界の景気回復を背景に各市場、特にインドやカンボジア・ラオス・ミャンマー・ベトナム(CLMV諸国)、EU、日本、中国向けの輸出が好調。品目別では、工業製品が14ヵ月連続のプラスとなり、農水産品・同加工品は前月のマイナスからプラスに推移した。

1~4月累計では、輸出額が前年同月比11.5%増の817億7500万ドル、輸入額は前年同月比17.2%増の811億200万ドルで、貿易収支は6億7300万ドルの黒字であった。

【インドネシア】

21日付のビジネス・インドネシア紙によると、同国自動車協会(ガイキンド)のデータで、トラックの2018年1~4月期の販売台数(出荷ベース)が3万8976台となり、前年同月比の2万7989台から約39%増加した。販売増には、インフラ事業の加速や、石炭などの商品価格の上昇などが寄与している。

【ベトナム】

ベトナムのホーチミン市やフーコック、ロンアンなどで「土地フィーバー」が起き、低所得層向けアパートが不足する一方で、高級アパートは供給過剰となっている。専門家はこうした不動産市場の動向について、不動産バブルとその崩壊につながるリスクがあるとしている。

2017年の第1四半期までに、ホーチミン市東部では1㎡あたり4500万ドン(約22万円)以上の高級アパートが3万戸近く発売されたが、購入する顧客数は十分ではなく、高級物件の供給過剰は解消されていない。

政府発表の公式な統計はないものの、実需に基づく購入は30%程度だったとされている。

■通貨（対ドル為替相場、年末・月末時点相場）

	日本	中国	香港	韓国	台湾	シンガポール	タイ	マレーシア	ベトナム	インドネシア	フィリピン	インド
	JPY	CNY	HKD	KRW	TWD	SGD	THB	MYR	VND	IDR	PHP	INR
2014年12月	119.44	6.2052	7.7545	1,087.60	31.642	1.3217	32.880	3.4965	21,388	12,412	44.788	63.1253
2015年12月	120.38	6.4935	7.7509	1,176.01	32.828	1.4131	36.058	4.2935	22,475	13,850	46.870	66.1590
2016年12月	116.96	6.9502	7.7559	1,207.82	32.254	1.4468	35.799	4.4862	22,761	13,473	49.730	67.9250
2017年12月	112.69	6.5067	7.8140	1,070.65	29.800	1.3360	32.580	4.0465	22,698	13,568	49.920	63.8713
2018年1月	109.19	6.2887	7.8229	1,067.75	29.144	1.3121	31.327	3.8985	22,705	13,389	51.295	63.5863
2018年2月	106.68	6.3310	7.8261	1,083.10	29.222	1.3248	31.385	3.9170	22,759	13,745	52.110	65.1775
2018年3月	106.28	6.2911	7.8488	1,063.55	29.116	1.3115	31.188	3.8635	22,794	13,768	52.170	65.1775
2018年4月	109.05	6.3336	7.8475	1,076.65	29.628	1.3236	31.590	3.9195	22,760	13,892	51.980	66.6613
2018年5月	108.82	6.4104	7.8431	1,077.78	29.962	1.3376	31.995	3.9798	22,804	13,894	52.540	67.3963

■株価（年末・月末時点相場）

	日本	中国	香港	韓国	台湾	シンガポール	タイ	マレーシア	ベトナム	インドネシア	フィリピン	インド
	日経平均 株価	上海総合 指数	香港 恒生指数	韓国総合 株価指数	台湾加権 指数	ST指数	SET指数	クアラルンプール 総合指数	ベトナムVN 指数	ジャカルタ 総合指数	フィリピン 総合指数	NIFTY 指数
2014年12月	17,450.77	3,234.68	23,605.04	1,915.59	9,307.26	3,365.15	1,497.67	1,761.25	545.63	5,226.95	7,230.57	8,282.70
2015年12月	19,033.71	3,539.18	21,914.40	1,961.31	8,338.06	2,882.73	1,288.02	1,692.51	579.03	4,593.01	6,952.08	7,946.35
2016年12月	19,114.37	3,103.64	22,000.56	2,026.46	9,253.50	2,880.76	1,542.94	1,641.73	664.87	5,296.71	6,840.64	8,185.80
2017年12月	22,764.94	3,307.17	29,919.15	2,467.49	10,642.86	3,402.92	1,753.71	1,796.81	984.24	6,355.65	8,558.42	10,530.70
2018年1月	23,098.29	3,480.83	32,887.27	2,566.46	11,103.79	3,533.99	1,826.86	1,868.58	1,110.36	6,605.63	8,764.01	11,027.70
2018年2月	22,068.24	3,259.41	30,844.72	2,427.36	10,815.47	3,517.94	1,830.13	1,856.20	1,121.54	6,597.22	8,475.29	10,492.85
2018年3月	21,454.30	3,168.90	30,093.38	2,445.85	10,906.22	3,427.97	1,776.26	1,863.46	1,174.46	6,188.99	7,979.83	10,113.70
2018年4月	22,467.87	3,082.23	30,280.67	2,492.40	10,553.43	3,577.21	1,778.02	1,863.47	1,050.26	5,919.24	7,721.02	10,692.30
2018年5月	22,201.82	3,095.47	30,468.56	2,423.01	10,874.96	3,428.18	1,726.97	1,740.62	971.25	5,983.59	7,497.17	10,736.15

■政策金利（年末・月末時点）

	日本	中国	香港	韓国	台湾	シンガポール	タイ	マレーシア	ベトナム	インドネシア	フィリピン	インド
	無担保 コール翌日	CHLR12M Index	HKBASE Index	KORP7DR Index	TAREDS Index	中銀SFBR	BTRRIDAY Index	MAOPRATE Index	VNREFINC Index	IDBIRATE Index	PPCBOND Index	INRPLYD Index
2014年12月	0.066	5.600	0.500	2.000	1.875	0.770	2.000	3.250	6.500	7.750	4.000	8.000
2015年12月	0.038	4.350	0.750	1.500	1.625	1.210	1.500	3.250	6.500	7.500	4.000	6.750
2016年12月	▲0.058	4.350	1.000	1.250	1.375	1.170	1.500	3.000	6.500	6.500	3.000	6.250
2017年12月	▲0.062	4.350	1.750	1.500	1.375	2.150	1.500	3.000	6.250	6.500	3.000	6.000
2018年1月	▲0.005	4.350	1.750	1.500	1.375	1.470	1.500	3.250	6.250	6.500	3.000	6.000
2018年2月	▲0.053	4.350	1.750	1.500	1.375	1.310	1.500	3.250	6.250	6.500	3.000	6.000
2018年3月	▲0.068	4.350	2.000	1.500	1.375	1.530	1.500	3.250	6.250	6.500	3.000	6.000
2018年4月	▲0.068	4.350	2.000	1.500	1.375	2.100	1.500	3.250	6.250	6.500	3.000	6.000
2018年5月	▲0.065	4.350	2.000	1.500	1.375	1.630	1.500	3.250	6.250	6.500	3.250	6.000

※日銀は金融市場調節を2013年4月よりマネタリーベースに変更。コール市場加重平均レート(短資協会発表)を参考記載。

※シンガポールは金融市場調節を為替レートにより実施。中央銀行翌日物貸出金利(Standing Facility Borrowing Rate)を参考記載。

■実質GDP成長率（前年比、前年同期比）

	日本	中国	香港	韓国	台湾	シンガポール	タイ	マレーシア	ベトナム	インドネシア	フィリピン	インド
2014年	0.38	7.30	2.80	3.30	4.02	3.28	0.80	6.00	5.98	5.01	6.20	6.40
2015年	1.38	6.90	2.40	2.80	0.81	1.95	2.90	5.00	6.68	4.88	6.10	7.40
2016年	0.93	6.70	2.00	2.80	1.41	1.98	3.30	4.20	6.21	5.01	6.90	8.20
2017年	1.65	6.90	3.80	3.10	2.89	3.60	3.90	5.90	6.81	5.07	6.70	7.10
2018年1-3月	▲0.60	6.80	4.70	2.80	3.02	1.70	4.80	5.40	7.38	5.06	6.80	7.70

■CPI消費者物価指数（前年比、前年同月比）

	日本	中国	香港	韓国	台湾	シンガポール	タイ	マレーシア	ベトナム	インドネシア	フィリピン	インド
2014年	2.73	1.99	4.43	1.30	1.20	1.03	1.90	3.16	1.84	6.42	4.18	6.71
2015年	0.80	1.44	3.00	0.70	▲0.31	▲0.52	▲0.90	2.10	0.60	6.38	1.43	4.91
2016年	▲0.13	2.01	2.42	1.00	1.40	▲0.53	0.19	2.09	4.74	3.53	1.78	4.96
2017年	0.48	1.55	1.48	1.90	0.62	0.59	0.67	3.88	2.60	3.81	2.86	3.33
2018年1月	1.40	1.50	1.70	1.00	0.89	0.00	0.68	2.70	2.65	3.25	3.40	5.07
2月	1.50	2.90	3.10	1.40	2.19	0.50	0.42	1.40	3.15	3.18	3.80	4.44
3月	1.10	2.10	2.60	1.30	1.58	0.20	0.79	1.30	2.66	3.40	4.30	4.28
4月	0.60	1.80	1.90	1.60	1.98	0.10	1.07	1.40	2.75	3.41	4.50	4.58
5月				1.50					3.86			

※空欄は数値算定中

(出所) 各国(地域)統計, 政府発表, ブルームバーグ

みなと銀行上海駐在員事務所

中国長江デルタ経済圏へ進出をされている、または、今後進出や投資をご検討されているお客さまへのサポート

上海駐在員事務所では、このようなサービスをご提供しております。

- 中国の金融経済等各種情報の提供
- 中国企業及び日系・外資系企業の動向調査
- お客さまの中国進出に関する情報の提供



中華人民共和国上海市銅仁路 195 号 中欣大厦 3312 号室
TEL. 86-21-6289-8080 FAX. 86-21-6289-8608

みなと銀行 上海駐在員事務所 所長 野田 啓介

2018年4月に上海駐在員事務所長に就任致しました野田でございます。

みなと銀行上海駐在員事務所は、2007年4月に開所し、日本からの派遣社員1名、ローカルスタッフ1名の計2名体制で業務にあたっています。

当上海事務所では、中国に進出されているお客さまへの商談会等の情報発信や、セミナーの開催などによる海外ビジネス支援を行っております。

ご要望等ございましたら当上海駐在員事務所までお気軽にご相談下さい。



お問い合わせ先

みなと銀行国際業務部アジア室



〒651-0193神戸市中央区三宮町2丁目1-1 TEL. 078-333-3283 FAX. 078-331-5845